

シリーズ名：中毒・環境因子

月日	曜日	時限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
4.26	金	II	中毒学概説	高田 礼子	環境保健	1. 有害物質の曝露経路、体内動態、排泄について説明できる。 2. 毒作用の種類、量-影響関係、量-反応関係を説明できる。 3. 化学物質の有害性、リスク評価について説明できる。	参考書の該当箇所を一読しておくこと
5.10	"	"	金属による中毒の病態	"	"	1. 主な金属中毒の発生要因について説明できる。 2. 主な金属中毒の病態、検査法について説明できる。 3. 主な金属中毒の治療について説明できる。	"
5.17	"	"	職業癌	"	"	1. 職業癌の要因と癌の発生部位との関係を説明できる。 2. 石綿による健康障害について説明できる。 3. 職業癌の健康管理と予防対策について説明できる。	"
5.24	"	"	加速度病の病態と診断	肥塚 泉	耳鼻咽喉科学	1. 加速度病の症状と発生機序について説明できる。 2. 加速度病の種類をあげ、その差異について説明できる。 3. 加速度病の治療と予防法について説明できる。	加速度病の症状、発生機序、種類、治療、予防法について理解・予習しておくこと
5.31	"	"	粉じんによる疾患と病態	高田 礼子	環境保健	1. じん肺の発生要因、病態について説明できる。 2. けい肺と石綿肺の胸部X線所見について説明できる。 3. じん肺の健康管理と粉じん障害防止対策について説明できる。	参考書の該当箇所を一読しておくこと
6.7	"	"	有機溶剤・有機化合物による中毒の病態	人見 敏明	環境保健	1. 有機溶剤による中毒の原因と病態が説明できる。 2. 有機化合物による中毒の原因と病態が説明できる。 3. 生物学的モニタリングについて説明できる。	"
6.14	"	"	気圧、騒音、振動による健康影響	"	"	1. 高気圧障害および減圧症の病態と対策を説明できる。 2. 騒音性難聴の病態と対策を説明できる。 3. 局所振動の健康影響を説明できる。	"
6.21	"	"	温度環境による障害と治療、高圧酸素療法	若竹 春明	救急医学	1. 高温、低温環境が生体に与える影響を説明できる。 2. 温度環境の変化に対する生体の適応を説明できる。 3. 治療法としての高圧酸素療法（HBO）とその適応を説明できる。	参考書の該当箇所や事前配布の講義資料を一読しておくこと
7.5	"	"	有害ガスおよび農薬による中毒の病態と治療	人見 敏明	環境保健	1. 酸素欠乏症の発現場、病態、対策について説明できる。 2. 有害ガス中毒の発生要因、機序、診断と治療を説明できる。 3. 農薬中毒の発症機序、診断と治療について説明できる。	参考書の該当箇所を一読しておくこと
7.12	"	"	放射線の種類と作用・人体への被曝	"	"	1. 放射線の種類、及びその発生機序を説明できる。 2. 放射線と物質との相互作用を理解し、説明できる。 3. 人体に与える影響を、具体例を提示して説明できる。	原子の組成について、予め理解しておくこと
7.19	"	"	食中毒の病態	竹村 弘	微生物学	1. 食中毒の原因、疫学について説明できる。 2. 細菌性食中毒について説明できる。 3. ウイルス性食中毒について説明できる。	Web Class上にある資料に目を通して予習しておく
7.26	"	"	救急におけるアルコールおよびその他の中毒の病態と治療	野村 悠	救急医学	1. アルコールが生体に及ぼす影響と代謝経路を説明できる。 2. 急性および慢性アルコール中毒の病態と治療を説明できる。 3. 救急における中毒診療の概要を説明できる。	参考書の該当箇所や事前配布の講義資料を一読しておくこと